



Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.
Environmental and Social Report 2014

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

2014

環境社会報告書





カワイの森 植林活動

インドネシア 2007 年～

カワイグループ・カワイの森育成会・PT. カワイインドネシア

インドネシアの熱帯雨林は、固有の動植物など多様な生きものを育んできました。また、人々の暮らしも森と密接なつながりを保ってきました。しかし、現在、世界でもっとも早いスピードでその姿を消しています。

カワイグループとカワイの森育成会、PT. カワイインドネシアでは、インドネシア森林公社と協働で 2007 年から CO₂ の吸収源確保、森林資源の育成、生物多様性の保全、水源涵養機能による洪水の防止などに役立つ「カワイの森」植林活動を実施しています。(10 ページ、29 ページに関連記事)



編集方針

内 容

カワイグループにおける環境活動側面に加え 2003 年度からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し、企業における社会的責任の視点を充実させ 2004 年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を 4 ページに記載しました。
カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対 象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・N G O、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2014 年版について

出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。また、関連資料は資料編にまとめました。

インターネット環境の普及や紙資源の節約を考慮し、2009 年版から、紙媒体でなく、ウェブサイト上での公開とさせていただいております。

報告対象期間

2013 年度（2013 年 4 月～2014 年 3 月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては 2014 年 4 月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(株)河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場 / 国内営業部門
- ・カワイ精密金属(株) ・(株)カワイハイパーウッド
- ・(株)カワイ音響システム ・メルヘン楽器(株)



目 次

はじめに	3
社長コミットメント	
企業概要	4
カワイグループの事業と会社の概要	
経営の理念・行動指針	5
カワイグループのあゆみ	6
音楽を通じた支援活動	7
環境報告	8
カワイの環境への取り組み	8
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織	
環境経営	9
2013 年度の環境目標と実績	9
事業活動に伴う環境配慮	10
地球温暖化の防止	10
製品の環境負荷（LCA）	11
廃棄物削減・再資源化	12
グリーン調達	13
環境配慮型製品	14
ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵	14
省電力型デジタルピアノ	15
カワイ防音ルーム ナサール	16
環境パフォーマンス	17
マテリアルバランス	17
社会性報告	18
経営計画	18
第 4 次中期経営計画	18
コーポレート・ガバナンス	19
コーポレートガバナンス体制・内部統制システム	20
リスク管理体制	21
株主・投資家の皆様とともに	22
お客様との関係	23
文化貢献活動	23
教育事業	25
カワイ健康づくりシステム	26
スポーツコミュニティ	27
コミュニケーション	28
地域社会との共生	28
インドネシアにおける植林活動	29
地域との交流	29
情報発信	30
環境社会報告書のウェブサイトによる開示	31
環境社会報告書の継続的発行	31
資料編	32
環境負荷サイト別一覧	32
第三者意見	33
アンケートのお願い	34

カワイウェブサイトアドレス

カワイホームページ	http://www.kawai.co.jp/
環境への取り組み	http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp
I R サイト	http://www.kawai.co.jp/ir/
製品情報	http://www.kawai.co.jp/products.asp
直営店情報	http://shop.kawai.co.jp/
健康事業	http://www.kawai.co.jp/kenkou/
文化貢献事業	http://www.kawai.co.jp/company/activity/culture.asp
教育事業	http://www.kawai.co.jp/school/
カワイ音楽教室	http://www.kawai.co.jp/school/music/
全音楽譜出版社	http://www.zen-on.co.jp/



はじめに



快適で豊かな生活環境の創造のために

社長コミットメント

2011年3月の東日本大震災の発生から3年余りが経ちましたが、被災地で今もなお厳しい状況におかれている皆様には改めてお見舞い申し上げますとともに、被災地の日でも早い復興をお祈り申し上げます。カワイグループは震災直後から全社統一スローガン『がんばろう日本！つながろう音楽で！～カワイは「日本の元気」を応援します～』を掲げ、音楽教室・体育教室の講師による訪問活動、全国各地でのチャリティコンサート開催、被災地の小中学校へのピアノの寄贈など、さまざまな活動を展開してまいりました。

震災から3年経った2014年3月11日には東京のカワイ表参道における10回目のチャリティコンサートをピアニストの皆様にご協力をいただきながら開催いたしました。今後も音楽を通じて被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。

さて、2013年度から始まった第4次中期経営計画（平成25年4月～平成28年3月）では、「グローバルブランドを確立する」、「音楽文化の普及に貢献する」、「お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る」、「収益性を高め継続的な発展を目指す」の4つの将来ビジョンの遂行に取り組んでおります。

初年度の国内販売は消費税増税前の駆け込み需要もあり、楽器事業全体が好調に推移しました。また、海外販売については中国市場が厳しかったものの、欧米をはじめその他のすべての地域で伸びが見られました。素材加工事業では自動車関連の受注が増え、音響関連事業も受注増で利益改善に結び付けました。

今後の経済情勢につきましては、国内外において予断を許さない状況が続くものと思われませんが、カワイグループは第4次中期経営計画における成長戦略と構造改革の諸施策を着実に遂行してまいります。

カワイグループは環境への配慮としてピアノ生産部門で業界に先駆け、いち早く環境マネジメントシステムISO14001を導入しました。以来、「カワイ地球環境憲章」と「環境方針」のもと、国内外の生産拠点に環境マネジメントシステムの導入を推進しております。2011年にはインドネシアのPT. カワイインドネシアでISO14001を、2012年にはカワイ精密金属（株）でエコアクション21、河合楽器（寧波）有限公司でISO14001の認証を取得し、環境マネジメントにおいてもグローバルに活動を強化しております。さらに、インドネシアでの植林活動、ピアノの再生利用など循環型社会形成のための活動にも継続して取り組んでおります。

現代は地球温暖化、エネルギー・資源問題など地球規模の課題を多く抱えておりますが、カワイグループは持続可能な社会の実現と音楽文化の発展に貢献することを基本に、皆様の生活、文化、環境に貢献できる企業として努力を続けていく所存です。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。今後とも皆様にご理解をいただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



代表取締役社長

河合弘隆



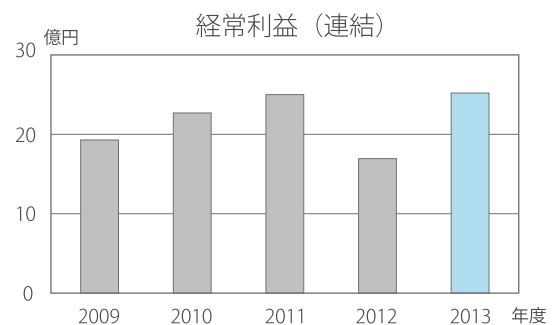
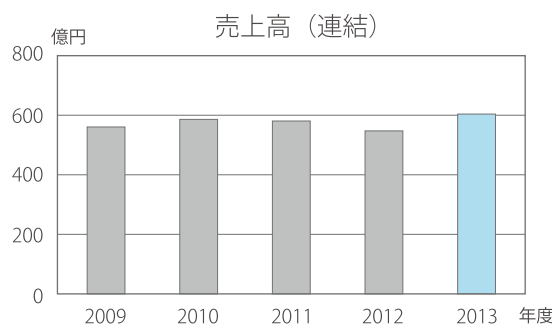
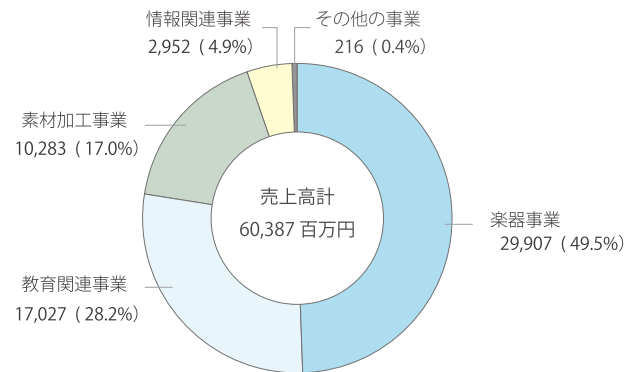
企業概要

カワイグループの事業と会社の概要

社 名 株式会社河合楽器製作所
 本 社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創 立 1927 年（昭和 2 年）8 月 9 日
 設 立 1951 年（昭和 26 年）5 月 15 日
 代表者 代表取締役社長 河合弘隆
 資本金 6,609 百万円（2013 年 3 月末現在）

年 度		2011	2012	2013
売上高 (百万円)	単独	47,986	46,006	48,650
	連結	58,058	54,740	60,387
従業員数 (名)	単独	1,469	1,400	1,414
	連結	2,784	2,812	2,917

事業セグメント別の売り上げ構成（2013 年度連結）
 単位：百万円



カワイグループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

- 国内での販売
 - (株)河合楽器製作所 直営販売部 / 卸販売部
 - (株)ディアパソン、(株)全音楽譜出版社 他
- 海外での販売
 - カワイアメリカコーポレーション
 - カワイヨーロッパ GmbH
 - カワイカナダミュージック Ltd.
 - カワイオーストラリア PTY.Ltd.
 - ミディミュージックセンター Inc.
 - PT. カワイミュージックインドネシア
 - 河合貿易（上海）有限公司
 - カワイ UK Ltd.
 - 海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
 - (株)河合楽器製作所 調律サービス部
- 楽器の国内での製造
 - (株)河合楽器製作所 竜洋工場
 - (株)全音楽譜出版社
- 楽器の海外での製造
 - PT. カワイインドネシア
 - 河合楽器（寧波）有限公司、上海カワイ電子有限公司
- その他
 - (株)カワイ友の会、メルヘン楽器(株)

教育関連事業

音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

- 国内 (株)河合楽器製作所
(株)全音楽譜出版社
- 海外 PT. カワイミュージックスクールインドネシア

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋳鉄鋳物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造 カワイ精密金属(株)
- 自動車部品用材料の製造 (株)カワイハイパーウッド
- 鋳鉄鋳物の製造及び販売 (株)カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造及び販売 (株)カワイ音響システム

情報関連事業

- IT機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売
(株)カワイビジネスソフトウェア

その他

- 金融関連事業、保険代理店事業 他
(株)カワイアシスト
(株)カワイ旅行センター



経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を行ってまいりました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは下に記します経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

経営の理念・行動指針

経営の基本的な 考え方と方向性

カワイの原点は音楽 …

社会貢献

顧客志向性 …

企業倫理

新しい時代への対応 …

持続社会

闊達な企業風土の創造 …

社会的責任

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を行ってきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目指して

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切に、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI

1996年4月1日制定

カワイグループ全体の 活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境保護活動

継 続



カワイグループのあゆみ

事業沿革

- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始
1929 河合楽器製作所と改称
1935 合名会社河合楽器製作所と改組
1951 株式会社河合楽器製作所と改組
1955 河合滋 社長に就任
1956 カワイ音楽教室を創設
1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
1966 カワイ音楽教室中央講師養成所（カワイ音楽学園）を創設
1967 カワイ体育教室を創設
- 1976 西ドイツにカワイドイツランド GmbH を設立
1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
1980 金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立
グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
1981 オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立
1984 (株)カワイビジネスソフトウェア設立
1988 アメリカにメディミュージックセンター Inc. を設立
1989 河合弘隆 社長に就任
- 1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチャリング SDN.BHD を設立
1996 新経営の理念、行動指針制定
1997 カワイ精密金属(株) 浜松事業所 ISO9002 認証取得
1998 (株)カワイハイパーウッド設立
1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
2002 中国に河合貿易（上海）有限公司を設立
カワイ倫理規範、倫理行動規程制定
2003 カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9001 認証取得
2004 カワイ精密金属(株) ISO9001 認証を全社に拡大
中国に河合楽器（寧波）有限公司を設立
2005 竜洋工場 ISO9001 認証取得
2006 アコースティックピアノの塗装を行うカワイインドネシア第2工場設置
旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン
2007 電子楽器組立を行うカワイインドネシア第3工場設置
中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設
2008 河合楽器（寧波）有限公司 ISO9001 認証取得
PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得
2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO9001 認証取得
カワイ精密金属（株）浜松工場の建物増設
2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立
2012 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ
中国に上海カワイ電子有限公司を設立
石川県羽咋市に(株)カワイキャストイング設立
2013 旗艦店「カワイ梅田」リニューアルオープン
グランドピアノ GX シリーズ発売
2014 北海道エリアに「カワイ札幌」リニューアルオープン
アップライトピアノ新 K シリーズ発売
(株)全音楽譜出版社をグループ会社化

環境活動

- 1920
- 1950
- 1970
- 1975 生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年
- 1980
- 1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート
1980 『森の中の緑の工房』竜洋工場完成
- 1990
- 1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決定
全社的な推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 環境推進室に名称変更
- 1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
- 1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得
竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰
- 2001 タイプIII環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示
舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
- 2000
- 2003 工場統廃合によるインフラの整備
木屑ボイラーの廃止
- 2005 竜洋工場が緑化優良工場として日本緑化センター会長奨励賞 受賞
- 2006 河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状
木材調達ガイドラインの開示
- 2007 (株)カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得
「カワイの森」インドネシア植林事業開始
- 2008 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞
- 2010
- 2010 メルヘン楽器(株)でエコアクション 21 認証取得
- 2011 PT. カワイインドネシア第1・第2工場で ISO14001 認証取得
CS 環境室に名称変更
- 2012 カワイ精密金属(株)でエコアクション 21 認証取得
河合楽器（寧波）有限公司で ISO14001 認証取得
- 2013 JR 浜松駅前看板を LED 方式による、カーボンオフセットサインと
して 25 年振りに一新
はままつ広告景観賞かんぱん部門受賞



音楽を通じた支援活動



カワイグループでは、楽器メーカーとして
音楽や楽器を通じて、様々な支援活動に取り組んでいます

東日本大震災の被災地への継続的支援活動 2014.3.11

チャリティコンサート at カワイ表参道 vol.10

これからも、カワイは応援します！音楽の輪を広げます！

カワイは、東日本大震災直後の2011年4月から6月にかけて、東京のカワイ表参道において「東日本大震災被災地支援チャリティコンサート」を開催し、趣旨にご賛同いただいた総勢27名の第一線で活躍するピアニストの皆さまに回替わりでご出演いただきました。全9回のコンサートではのべ1,200名近くのお客様ににご来場いただき、825,624円に及ぶ募金をお預かりいたしました。

一方、被災地からは今でも“震災はまだ終わっていない、何も解決してはいない”という声が聞こえてきます。復興はまだまだこれからであるという現実を受け、震災から3年が経った2014年3月11日、当時と同じカワイ表参道において、一日も早い復興を願い通算10回目となるチャリティコンサートを開催いたしました。

コンサート終了後には、出演者が自ら募金箱を手に募金を呼びかけ、多くの皆さまからの温かなご支援をいただきました。お預かりしたお金は、被災地植樹支援としてカワイの森育成会を通じ、海岸防災林等の森林整備に用途を限定した東日本大震災復興事業に寄付する計画です。



音楽文化の普及活動支援 at 浜松 2013

音楽文化の普及活動の一環として、カワイ音楽振興会、中部支社と連携をとりつつ、2011年度から浜松市教育研究会(※)と共同で浜松市内の小中学校約160校を対象にコンサートの企画・運営の協力を行っています。昨年も6月から11月まで全部で8回の学校コンサートを行い、約2,300人を超える生徒や先生、保護者の皆様に素晴らしい演奏を聴いていただきました。この活動を通して、子供たちに音楽の楽しさを知ってもらうとともに、若きピアニストたちに演奏活動の場を提供したいと考えています。2014年度は浜松市に加え、袋井市、磐田市でも開催が決まり、今後も当社は学校コンサートを通じて、多くの方々に音楽活動の支援と、音楽文化の発展に貢献をしてまいります。



※浜松市教育研究会…教育の振興を図るために浜松市立幼稚園・小学校・中学校など約4,100名の教職員でつくられた組織のこと。



環境報告

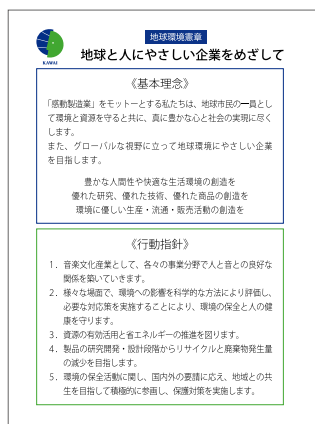
カワイの環境への取り組み



カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて
環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

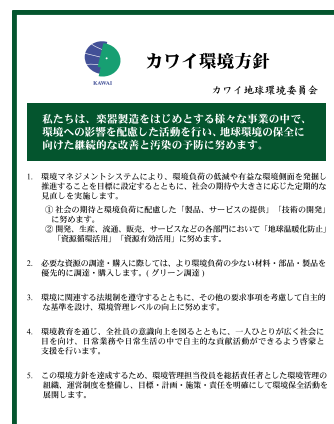
地球環境憲章



カワイグループは、すばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

環境方針



カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目的・目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月には各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。

環境監査

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベランス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

環境マネジメントシステム(EMS)

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクション21などがあります。

社 長							
地球環境委員会 委員長：環境担当役員							
専門部会				事務局：総務人事部 CS環境室			
温暖化防止WG 廃棄物削減WG 環境順法WG グリーン調達WG 環境情報WG							
ISO: ISO14001	本社サイト環境組織	電洋工場環境組織	メルヘン楽器環境組織	カワイハイパーワールド環境組織	カワイ精密金属環境組織	カワイ音響システム環境組織	国内営業環境組織
ISO: ISO9001							
ECO: エコアクション21							
カワイキャスティング環境組織※							
EMS運用	◎	ISO	ISO	ECO	ISO	ECO	
地球温暖化防止	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
廃棄物削減	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
化学物質管理		◎		◎	◎	◎	◎
グリーン調達	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

WG:ワーキンググループ EMS:環境マネジメントシステム ※2014年度より編入



環境経営



CO₂ 排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2013 年度の環境目標と実績

2013 年度から 2015 年度の 3 ケ年計画・目標

地球温暖化防止を重点課題と考え、CO₂ 排出量の削減に全社で取り組んでいます。

2010 年度から 2012 年度までの前の 3 か年計画の実績をうけて、地球環境委員会で 2013 年度から 2015 年度までの新たな 3 か年計画を定めました。

この 3 か年計画における環境目標は、CO₂ 排出量と廃棄物排出量について、2012 年度を新たな基準年として、売上高 100 万円当たりの原単位で毎年 1%削減することと設定いたしました。

環境目標 (2013 年度～ 2015 年度) 基準年：2012 年度		
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	毎年 1%削減 (原単位)
資源の循環活用	廃棄物量	毎年 1%削減 (原単位)

2013 年度の実績

各事業所の環境組織では、活動の主な目的・目標として「生産効率の向上」「不良率の削減」「資源の有効活用」などを掲げて環境マネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2013 年度の実績は CO₂ 排出量原単位で 2012 年度比 -6.2% と目標値 (-1%) を達成できました。また、廃棄物排出量原単位に関しましても 2012 年度比 -8.8% と減少し、目標値 (-1%) を達成しました。

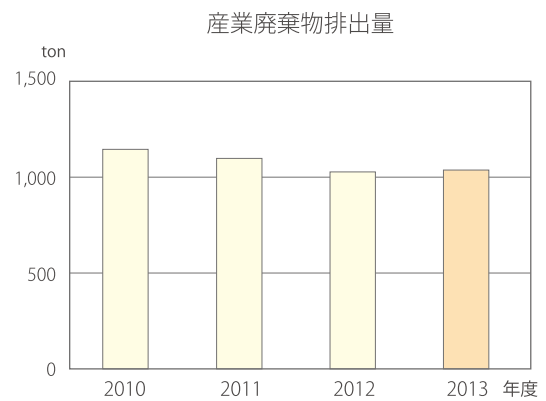
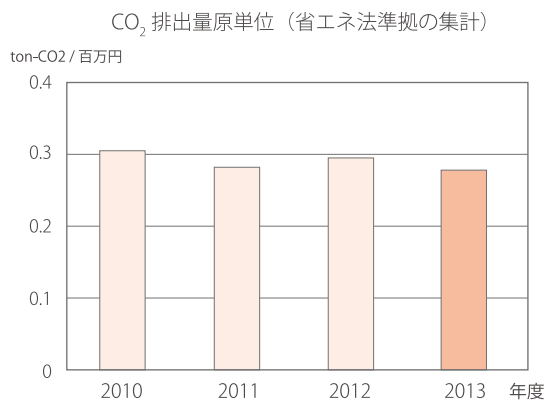
	指 標	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度		
		実 績	実 績	実 績	実 績	増 減	評価
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	305	282	296	278	-6.2%	◎
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,328	5,911	6,156	5,808	-5.6%	◎
資源有効活用	廃棄物排出量 (総量) (ton)	1,139	1,089	992	998	+0.6%	
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	19.6	19.2	18.1	16.5	-8.8%	◎

評価 ◎：達成 ×：未達成

環境経営指標

CO₂ 排出量の集計につきましては、2009 年度までカワイグループ内の国内生産拠点および主要支社の CO₂ 排出量を集計し、売上高で除した指標 (原単位) を用いてきましたが、2010 年度からは改正省エネ法に対応するために国内生産拠点および全ての支社・営業所・音楽教室を含めたカワイグループ全体の CO₂ 排出量を集計して、原単位を算出しております。

また、産業廃棄物の排出量の総量は、2012 年度に対しては 0.6% 増加しました。これは、生産合理化に伴う部品外注製造工程の構内への移設等の影響によるものであり、今後の取組みの重点課題として検討を進めてまいります。





事業活動に伴う環境配慮



CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

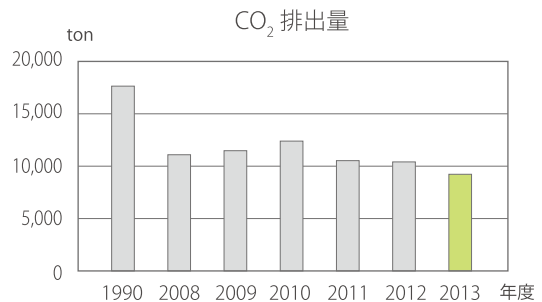
地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み（CO₂ 排出量削減）

カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用による CO₂ の排出や物流による CO₂ の排出の削減を目的・目標に掲げ活動しています。

工場の海外化により、生産系事業所の CO₂ 排出量は京都議定書の基準年である 1990 年度に比べて 48% 削減されており、京都議定書の日本の目標値 6% 削減に対してカワイグループは大幅な削減を達成しています。なお、1990 年当時の支社・営業所・音楽教室を含む CO₂ 排出量の推定を行っており、この場合、1990 年比約 23% の削減と推定しております。

また、カワイグループの工場では、ピアノ製造の竜洋工場と金属加工のカワイ精密金属（株）松本工場の 2 工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定され、自主的に CO₂ 削減計画を策定し、CO₂ 削減に取り組んでいます。



オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を 20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。

CO₂ の吸収活動（植林活動）の推進

「森の中の緑の工房」竜洋工場

カワイは、1980 年に「森の中の緑の工房」を目指して竜洋工場を建設しました。当初に工場周辺や構内に植えた約 20,000 本とその後の植樹により、現在では約 26,000 本の規模となりました。グラウンドを含めると工場敷地の約 50% が緑地となっており、35 年の歳月を経て「森の中の緑の工房」の名にふさわしい工場となりました。なお、2005 年にはこの活動が評価され、緑化優良工場として（一財）日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



海外植林活動

2007 年からインドネシアにおいて、CO₂ 吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の確保を目指してカワイグループ従業員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っています。2012 年度までの第 1 期に約 250ha、植林木数約 30 万本、成育本数 24 万本の規模の植林を達成しました。

この植林により年間 3,700 トンの CO₂ 吸収効果があり、竜洋工場における生産活動にともなって発生する約 3,700 トンの CO₂ を吸収する効果があると見込んでいます。

CO₂ 排出ゼロの浜松駅前ビル屋上広告塔

「楽器のまち・浜松」のシンボルとなってきた JR 浜松駅北口前ビル屋上の広告塔を 2013 年 8 月にリニューアルしました。

光源に LED を採用し、従来のネオン 22kW に対して 3kW と電気使用量を約 87%削減しました。

さらに看板点灯時の電力使用によって発生する年間 2.21ton の CO₂ を排出権クレジットで相殺するカーボン・オフセットを行い、CO₂ 排出ゼロを実現しました。

ピアノをモチーフとしたシンプルで洗練されたデザインが「浜松らしさ」を品よくアピールしていると評価され、浜松市主催の「第 1 回はままつ広告景観賞」かんぱん部門賞を受賞しました。





主な製品の環境負荷の評価と夏の節電活動

製品の環境負荷（LCA）

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出される CO₂ 量及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出される CO₂ の量をカワイの主な製品のグランドピアノ（GX-3）について行なった結果、次のとおりとなりました。

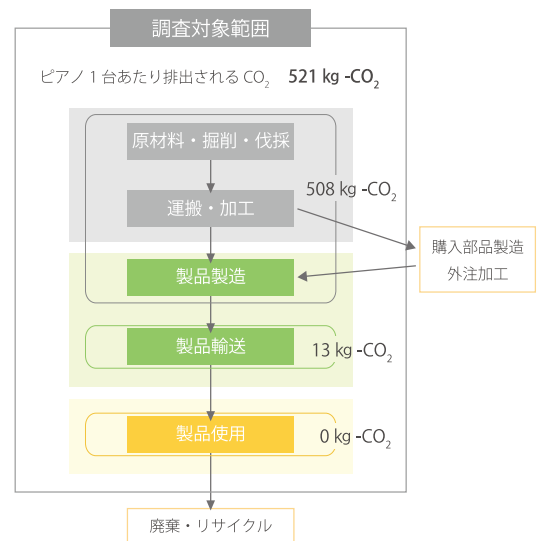
ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出される CO₂ はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までの CO₂ 排出量が製品寿命の総 CO₂ 排出量と考えることが出来ます。

LCA：Life Cycle Assessment の略。

製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

LCA 評価方法

- ＊ LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクルアセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。
- ＊ 製品の廃棄について
ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。
- ＊ 購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。
- ＊ 製品輸送は磐田市（竜洋工場）→東京間を用いています。



夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。東日本大震災が発生した 2011 年度は、節電目標を前年比 15%削減とし、カワイグループ全体の電力使用量の実績で 11%の削減を達成しました。

夏の節電活動が 4 年目となる 2014 年度も、目標『前年比マイナス 5%』の目標をかがげ、節電活動に取り組んでいます。



2011 年



2012 年



2013 年



2014 年



資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

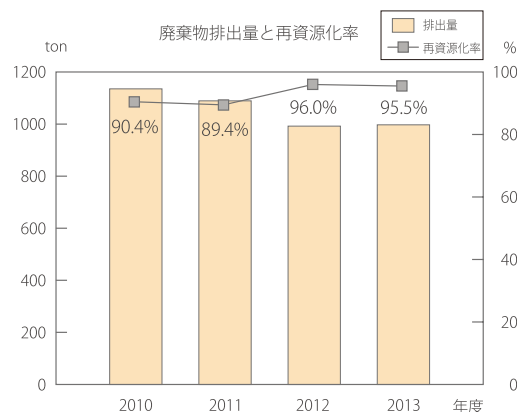
廃棄物削減の取り組み

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。

2003 年度には、大気汚染の防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木屑ボイラーを廃止したため、それまで燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉が廃棄物扱いとなったことにより、廃棄物排出量が大幅に増加しました。その後の歩留向上などの取り組みにより廃棄物排出量を削減してまいりました。

2013 年度は外注工程の構内への引入れにともなう廃棄物の増加のため、産業廃棄物排出量は、前年比 +0.6% と微増でした。

再資源化につきましては、木屑等は全て再資源化（製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用、他）しており、その他のフェルトなどは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つよう再資源化の取り組みを行っています。その結果、再資源化率は、2012 年度に前年の 89.4% から 96.0% に上昇しましたが、2013 年度は 95.5%（前年比 -0.5%）でした。今後も廃棄物の再利用、再資源化を検討し、再資源化率の向上を目指します。

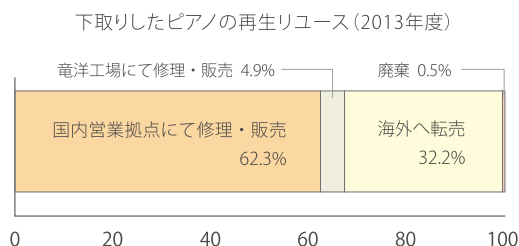


廃棄物の再利用
(竜洋工場)

リサイクル・リユースの取り組み

生産者拡大責任を踏まえて、循環型社会のためのピアノの再生利用を推進するために（株）ピアノリサイクルを 1998 年に設立しました。現在では竜洋工場内のリサイクルグループが本事業を担当しています。

日本国内では各営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。2013 年度には約 1,100 台のピアノが再生・リユースされました。そのうち約 3 割が輸出され世界の各地で使われています。



メーカーによるピアノ再生

メーカーだから出来る仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり 80 年を超える製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。





持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

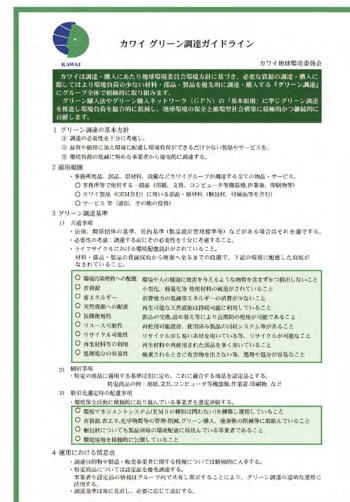
カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

次のようなライフサイクルにおける環境への配慮に関する事項を調達基準として考慮しています。

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めています。また、このガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定しています。

- ・ 環境汚染物質への配慮 / 省資源 / 省エネルギー
- ・ リサイクル可能性 / 再生材料等の利用
- ・ 天然資源への配慮 / 長期使用性 / リユース可能性
- ・ 処理処分の容易性



またサプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対対応をお願いしています。

- ・ 環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- ・ 梱包材についても環境に配慮していること
- ・ 省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
- ・ 環境情報を積極的に公開していること

廃棄物削減の取り組み



スプリース（マツ科 トウヒ属）の断面
ピアノ響板に使用、樹齢 250～260 年

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのスプリースが使われます。樹齢 150～400 年、高さが 60m にも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上 6～20m の部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質、貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保全、保護、育成は特に重要と考え生物多様性の保全に配慮して木材のグリーン調達に取り組んでいます。

木材調達ガイドライン（2006 年 6 月開示）

2006 年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。



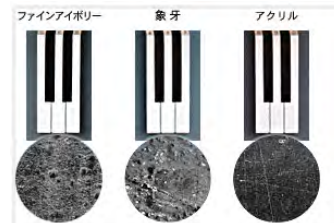
環境配慮型製品

環境に配慮したピアノ

ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵

ピアノの鍵盤の素材は、白鍵には象牙、黒鍵には黒檀が最良とされ、古くから使われてきました。

しかし 1980 年代に入ると野生動植物の保護意識が世界的に高まり、代替素材が求められるようになりました。カワイは他に先駆けて、植物性樹脂を主原料とする、まったく新しい独自の鍵盤素材を 1988 年に開発しました。それが、数々の優れた特長、機能を持つ「ファインアイボリー」(人工象牙)と「ファインエボニー」(人工黒檀)です。ピアニストからの評価は時とともに高まり、現在では新時代の鍵盤素材として高い評価が定着しています。



伝統と革新の融合から生まれた、グランドピアノの新・世界基準「GX シリーズ」

ビギナーからプロのピアニストまで幅広い音楽ニーズに的確に応え続け、数多くのユーザーから愛用されています。Shigeru Kawai シリーズに採用した新技術を惜しみなく注ぎ込み、究極のスタンダードを目指して 1 クラス上のタッチと音を実現したグランドピアノです。



GX-7

業界ではじめて鍵盤鉛を廃止したアップライトピアノ「K シリーズ」を 8 年ぶりにモデルチェンジ

(2014 年 2 月 16 日発売)

新 K シリーズは、コントロール性を高め、演奏表現の幅が広がる長尺鍵盤やこれまで以上に豊かな音量と音の伸びを実現した新設計響板、より安定した響きをもたらすことが可能となる高剛性ボディ等、Shigeru Kawai や GX シリーズなどのグランドピアノで培った設計思想をふんだんに盛り込み開発しました。

K シリーズでは従来から鍵盤に埋め込む錘に鉛を廃止し、リサイクルが容易な鉄を採用しております。鍵盤への固定が難しい鉄の使用はカワイのすぐれた金属加工技術によって生まれた形状(特許出願中)や、埋め込む位置の工夫など、独自の新技術により可能になりました。また、鉛より比重が軽い鉄を使用したにもかかわらず、金属の量を減らすことにも成功しました。



K
SERIES

K-400

環境配慮型アコースティックピアノ

(2014 年 7 月 4 日発売)

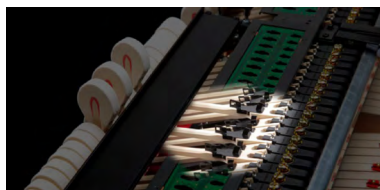
ANYTIME X2



消音ピアノ「ANYTIME X (エニィタイム エックス)」シリーズの新製品「ANYTIME X2」を発売しました。「ANYTIME X」シリーズは、夜間など音を出せないときに、デジタル音源に切り替えて演奏を楽しむことができるピアノです。



「ANYTIME X2」はタッチ感を向上させたハンマー検出型センサー「インテグレートッドハンマーセンシングシステム (IHSS)」をはじめ、響板スピーカーシステムやスライド式スイッチパネル、最新型デジタル音源の搭載など、消音ピアノの枠を超えたハイブリッドピアノとしてさらに進化しました。



インテグレートッドハンマーセンシングシステム (IHSS)



響板スピーカーシステム



環境に配慮したデジタルピアノ

省電力型デジタルピアノ CA シリーズ、CN シリーズ

2012年に発売された省電力型デジタルピアノは、デジタルアンプの採用など、システム全体を見直すことにより『CA95』では約50%、『CA65』は約45%、『CN24』は約60%、『CN34』は約35%(いずれも当社従来機種比)の省電力化を実現しました。オートパワーオフ機能も搭載したことによる省エネをも実現した環境に優しいデジタルピアノです。

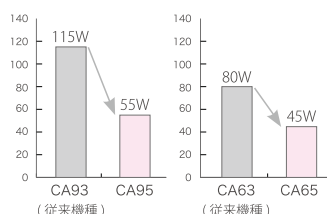
目指したのはグランドピアノの性能 Concert Artist シリーズ『CA95』『CA65』

"Concert Artist" シリーズは、その名のとおりアーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイデジタルピアノのトップブランドです。



CA95 - プレミアムブラックサテン調

CA シリーズ消費電力



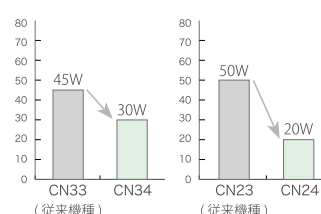
表現力を大幅に向上したデジタルピアノ 『CN34』『CN24』

入門者向けのデジタルピアノ「CN シリーズ」は、ピアノとしての充実した基本性能を兼ね備えながらも、お求めやすい価格を実現しました。



CN34 - プレミアムチェリー調

CN シリーズ消費電力



オートパワーオフ機能搭載デジタルピアノ LS1

2013年11月に発売されたコンパクトでスリムな電子ピアノLS1は、何も動作していない状態が一定時間続いたときに、自動で電源を切れるオートパワーオフ機能を内蔵しています。

モダンインテリアに映える、フルフラット＆コンパクト



鍵盤蓋を閉じれば、フルフラットになるLS1。そのフォルムはひとつのインテリアとして完成されています。奥行き31cmのコンパクトボディで、場所を選ばず高品質なピアノを楽しむことができます。

DIGITAL PIANO LS1



LS1 - プレミアムローズウッド調

MIDI キーボード「VPC1」が Rock oN AWARD で Silver 賞を受賞

株式会社メディア・インテグレーション Rock oN Company が主催する、ユーザー投票およびスタッフ推薦により選ばれた賞である Rock oN AWARD の2014で、MIDI キーボード「VPC1」が Silver 賞を受賞し、本年1月にアメリカで開催された「NAMM Show 2014」において授賞式が行われました。

受賞のポイントは「グランドピアノの感触を再現するために搭載された多くの技術のクオリティーの高さが、世界に誇るピアノブランドの実力を証明している」というもの。当社の技術力を高く評価頂いた結果です。



VPC1
Virtual Piano Controller



理想の音環境をより身近に カワイ防音ルーム「ナサール」

ドアから始める防音対策『防音ドア』『カワイ室内用木製防音ドア』

(2013 年 10 月 28 日発売)

カワイ防音ルーム「ナサール」で定評のある防音ドアを一般住宅用に新設計し、下枠の戸当りをなくして段差を減らすなど、車椅子や高齢者の方の使用にも配慮しながらも高遮音性能 (T-3*) を確保した『防音ドア』を発売しました。

*T 値はドアなどの遮音性能等級。T-3 は 500Hz 帯域で 35dB 以上の遮音性能。

【製品の特徴】

1. カワイオリジナルのマグネットパッキンにより、軽く閉じるだけで防音状態を確保
2. 壁厚に合わせた 2 種類の取付枠
厚さ 130mm の固定枠タイプと厚さ 115 ～ 200mm の壁に対応可能なタイプ。
3. 細かな調整を可能にする三次元調整蝶番
扉を吊り込んだ後でも前後左右上下の細かな調整が可能。
取付現場での建付調整や経年変化にも対応。
4. 新開発の機構により車椅子や高齢者の方への配慮と遮音性を両立



防音ドア



カワイ防音ルーム「ナサール」

置くだけで音響改善ができる『音調パネル』

(2013 年 10 月 28 日発売)

カワイ独自の技術を注ぎ込み、簡単に設置でき、響きすぎや音響的な障害を改善し理想の音環境を手に入れることができる『音調パネル』を発売しました。「ナサール」で採用している「吸音パネル」を壁や窓に立て掛けて使用するスタイリッシュなデザインに一新。スリムサイズながら高い吸音性能により、少ない枚数で室内の音響障害を取り除き、快適な音空間を実現します。

【製品の特徴】

1. スタイリッシュなフォルムと温かみのあるクロス生地
2. 軽量設計なので持ち運びが可能。オプションパーツにより 2 枚のパネルを繋げることができ、部屋中央でも立てることも可能。
3. 独自の吸音構造による、音調パネル
ピアノなど広い音域には「全帯域用」、バイオリン・フルートのような高い音域の調整には「高音域用」と 2 種類の音調パネルを用意。
4. オリジナルデザインによる音響調整効果アップ
縦長形状により床に置いた状態で演奏者の耳の高さまで音調パネルがカバーでき、音響調整効果が得やすくなっています。



音調パネル

アイボリー ブラウン



音調パネル設置例

環境負荷の低減：『ナサール』の照明器具に LED を全面採用しました *

『ナサール』の標準照明器具は 2013 年 9 月受注分から、消費電力が蛍光灯に比較して約半分で、長寿命の LED 照明器具に切り替わりました。* スポットライト等オプションの照明器具、法人向け製品は除きます。

＜お問い合わせ＞ 株式会社 カワイ音響システム

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 358
tel:053(489)7601 fax:053(489)7608 www.kawai-os.co.jp/



環境パフォーマンス

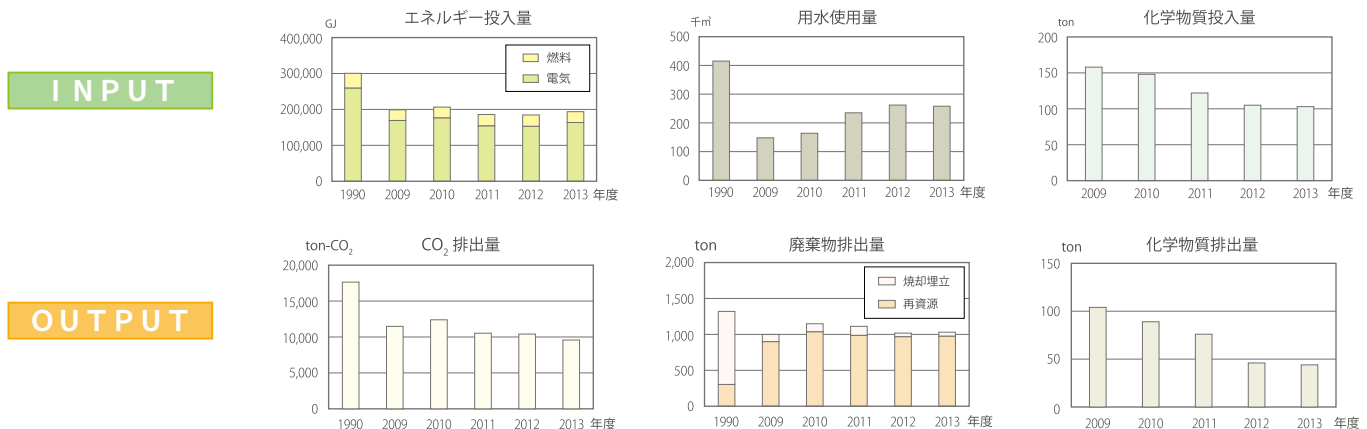
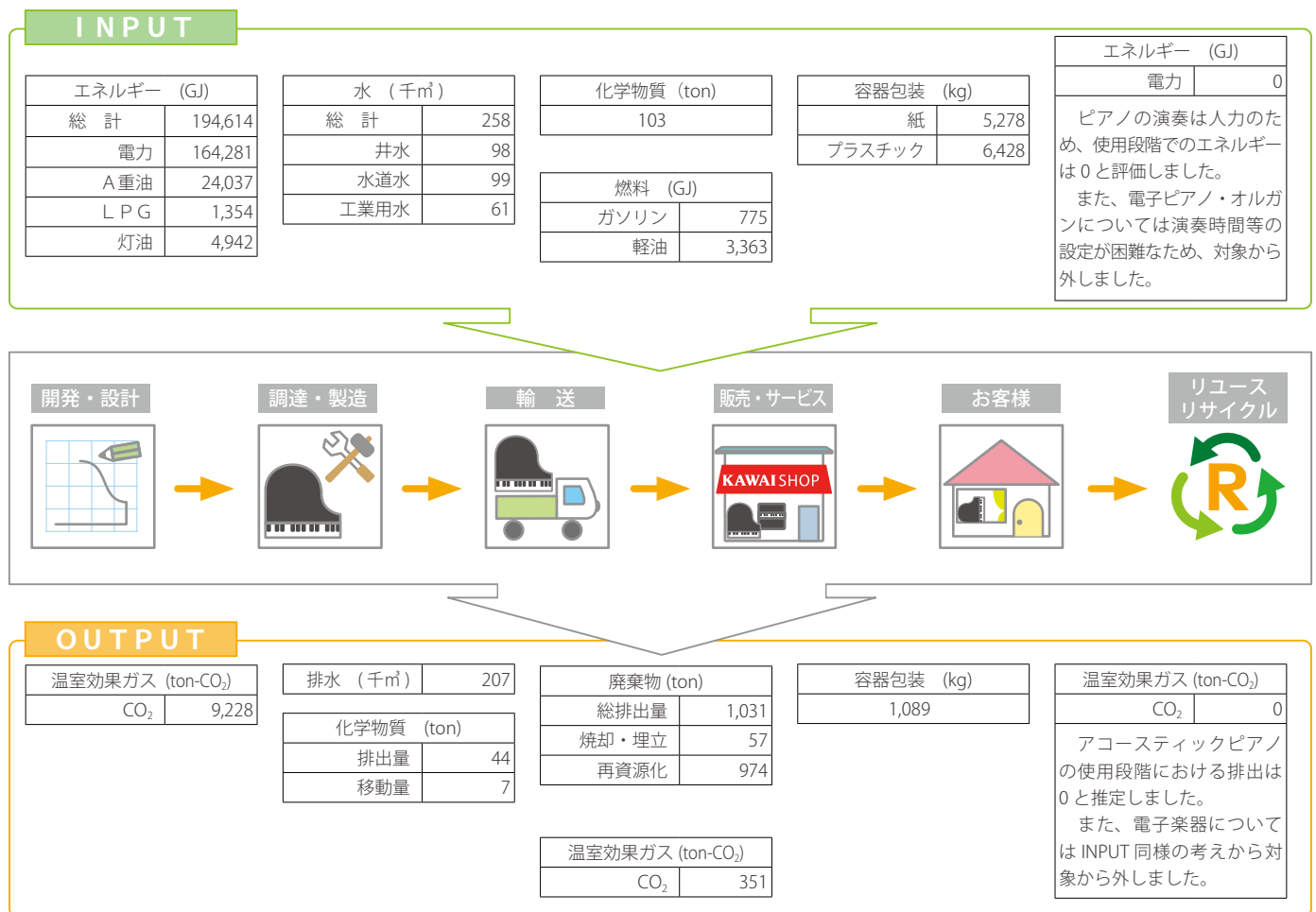


企業活動による環境負荷を数値で把握することが 環境活動の第一歩と考えています

マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行っております。

2013年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後もデータ把握の対象を広げ環境負荷の低減に取り組みます。





社会性報告 経営計画



第4次中期経営計画（2013年度～2015年度）の概要と進捗

第4次中期経営計画

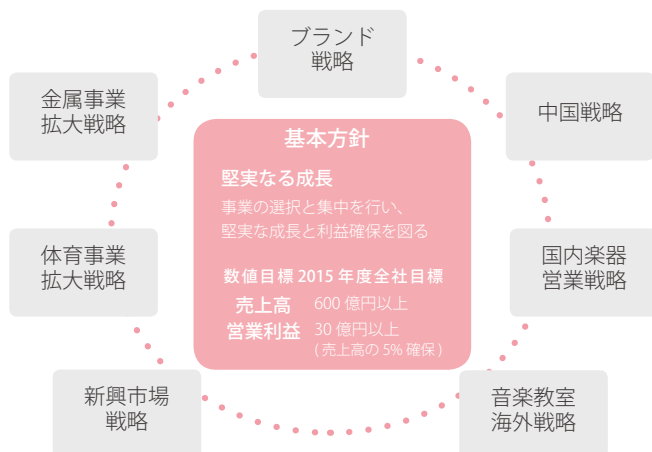
2013年4月よりスタートさせた第4次中期経営計画について、初年度となる2013年度は当初計画を上回る実績をあげることができました。引き続き、さらなる成長戦略を描くとともに持続的成長のための構造改革の諸施策を遂行してまいります。

将来ビジョン

世界の音楽文化創造の担い手としての責任と誇りを持ち、堅実な成長と発展を目指す

- グローバルブランドを確立する
- お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る
- 音楽文化の普及に貢献する
- 収益性を高め継続的な発展を目指す

基本方針と成長戦略



ブランド戦略 ～ グローバルブランドの確立 ～

- Shigeru Kawai への重点投資
- 音楽文化の普及への貢献

中国戦略 ～ 中国市場で三位一体体制を確立 ～

- カワイ専門点を都市部を中心に展開
- 音楽教室の本格展開
- アフターサービス網の構築
- 主要音楽大学との連携によるカワイブランドの定着

国内楽器営業戦略 ～ 国内市場の効率的販売体制の構築 ～

- 販売体制再編と強化
- 市場ニーズに即した魅力ある教室展開
- 新しい営業スタイルの導入

音楽教室海外戦略 ～ カワイ音楽教室をアジアで本格展開 ～

- インドネシアに直営教室を開設
- インドネシアのビジネスモデルをアジア各国に展開

新興市場戦略 ～ 市場に即した販売活動を展開 ～

- モスクワに販売会社を設立
- 中南米市場の拡大開拓
- 世界戦略モデルを投入

体育事業拡大戦略 ～ 体育教室の多角的展開 ～

- 教室事業の拡大
- 健康増進事業の拡大

金属事業拡大戦略 ～ CVT 向け材料加工分野で世界 No.1 ～

- CVT 向け受注の拡大
- 生産体制の強化
- 半導体・CVT に次ぐ第3の柱の構築

第4次中期経営計画の説明資料は、上の画像をクリックすることでご覧いただけます。

https://www.kawai.co.jp/ir/setsume/pdf/2013/20130328_2014chuken.pdf



継続的に企業価値を高めていくには コーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題と捉えています

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社は、継続的に企業価値を高めていくうえで、コーポレート・ガバナンスの充実を最も重要な経営課題としてとらえており、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、取引先、地域社会、従業員等の当社を取り巻く様々なステークホルダーから信頼される経営姿勢が重要であると考えております。

その実現に向け、当社では株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、内部統制システムやコンプライアンス体制の整備等の様々な方策を実現させるとともに、タイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しております。

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このようなことからカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。

具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規準を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

当社では「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

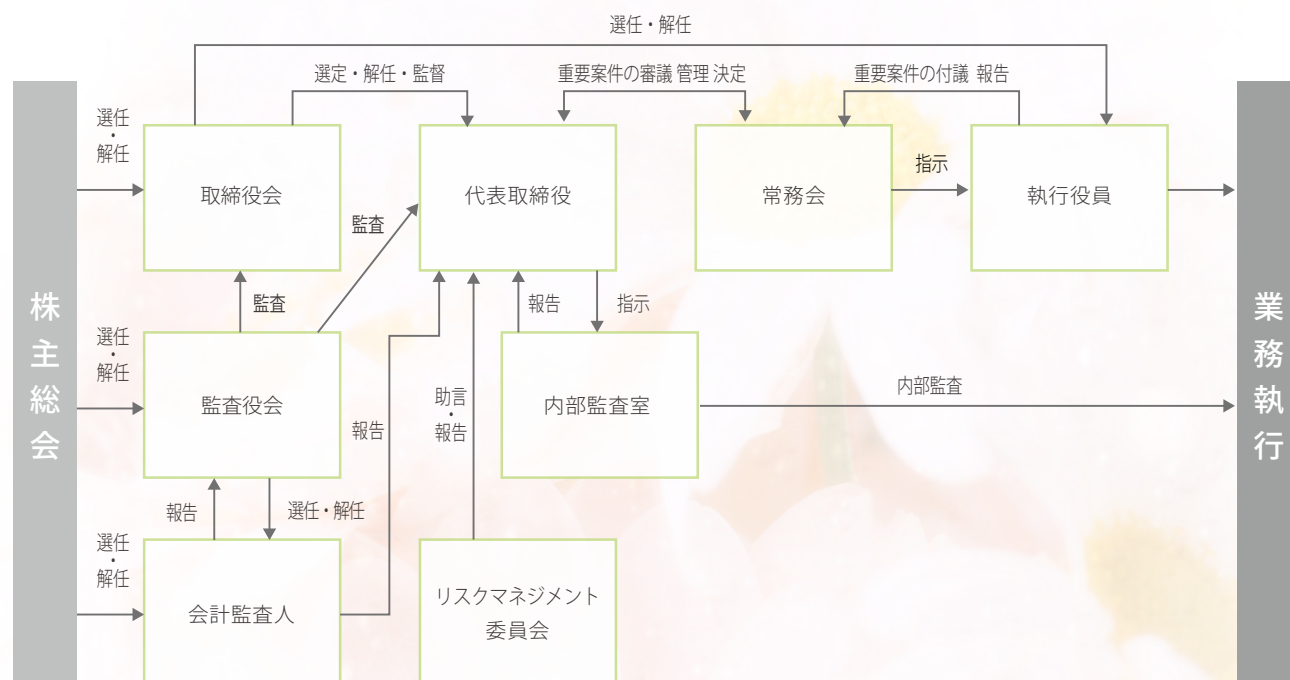
反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。

このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。



コーポレート・ガバナンス 体制 / 内部統制システム



- ・ **取締役会**：8名で構成（社外取締役は1名）
- ・ **監査役会**：社外監査役2名を含む4名で構成
- ・ 2002年4月より執行役員制度を採用
- ・ 2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を1名選任しており、社外取締役には、客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。

- ・ 経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・ **内部監査**：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。

（2014年6月26日現在）



リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めております。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しております。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしております。

なお、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に際しては、当社取締役を委員長とした「緊急災害対策本部」をただちに設置し、被害状況及び震災の影響の把握に努めました。今後も必要に応じて追加の施策を行ってまいります。

リスクマネジメント委員会

地球環境委員会

カワイグループは 1994 年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

海外安全対策委員会

海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。

中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。

中央安全衛生委員会

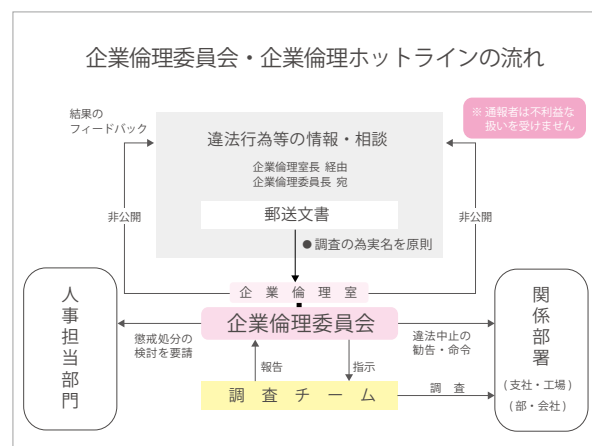
カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

情報セキュリティ委員会

情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。

企業倫理委員会

コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動規程を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。



製品安全対策委員会

万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があるかと判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。



株主・投資家の皆様とともに



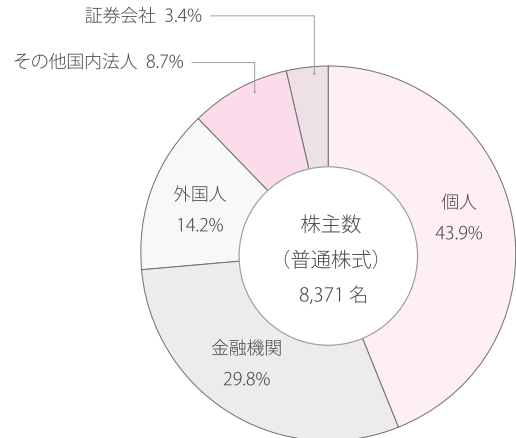
株主・投資家の皆様への I R 活動に取り組んでいます

決算説明会

2014 年 5 月 27 日、東京 日本証券アナリスト協会にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。連結業績の概要を説明するとともに、2013 年 4 月より始まっている第 4 次中期経営計画の進捗についての説明を行い、今期及び来期のカワイの事業展開について、ご理解いただきました。

同説明会で使用した資料は、ウェブサイトにて公開しております。下記画像をクリックしてご覧ください。

株式の発行状況と所有者別状況（2014 年 3 月 31 日現在）



発行可能株式総数	普通株式	342 百万株
発行済株式総数	普通株式	85 百万株

定時株主総会

2014 年 6 月 26 日、カワイ本社にて第 87 期定時株主総会を開催いたしました。事業報告において、プロジェクトとナレーションによる説明を採り入れ、グラフや写真を使ってわかりやすい説明に配慮いたしました。当日お越しいただいた株主の皆様は、カワイの業績や事業展開について、より深くご理解いただきました。

事業報告書

株主の皆様には、事業報告書を年 2 回お送りしています。直近の財務情報に加え、トップのコミットメントや当期のトピックス、会社概況などをお伝えしています。なお、事業報告書の資料はウェブサイトにて公開しております。下記画像をクリックしてご覧ください。

I R サイト

ステークホルダーの皆様はカワイの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（I R 活動）の手段としてカワイウェブサイトにて I R サイトを開設しています。

<http://www.kawai.co.jp/ir/>

I R：Investor Relations の略。

企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。





お客様との関係



文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも“Music for All”の理念のもと、以下のような多彩な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。

多彩なコンサート情報を掲載しているカワイ音楽振興会サイトを参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>



カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をという理念のもとにスタートしたカワイコンサートは、発足以来これまでに2,200回をこえる公演を全国各地で行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、皆様に良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいています。



ヨーロッパ・カワイコンサート

1976年設立のカワイドイツランド GmbH を経て 1979年に設立されたカワイヨーロッパ GmbH は、欧州におけるカワイの重要な拠点になっています。1990年にデュッセルドルフから北西方向25kmのクレフェルト市に移転して以来、1991年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートはクレフェルト市「カンパスホール」で行われています。

これまでに220回以上のコンサートを開催しております。また、著名ピアニストを招聘してピアノマスタークラスを主催するなど、様々な文化事業を行ってきました。浜松市とクレフェルト市との文化交流においても支援を行っております。



ヨーロッパ・カワイコンサート（クレフェルト市 カンパスホール）



カワイ音楽振興会の支援活動

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、ショパン生誕 150 年にあたる 1960 年、ポーランドのショパン協会との交流のもとに設立。「フレデリック・ショパン協会国際連盟」の会員として、世界各国のショパン協会と相互連携を保ちながら活動しています。

音楽交流、ショパン国際ピアノコンクールへの審査員派遣、参加者オーディションなどの活動を行ってきました。また、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈。毎年数回、ショパン作品を中心としたリサイタル・講座を開催しています。

<http://chopin-society-japan.com/>



クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により 1962 年設立。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。1971 年より、クロイツァー教授の功績を記念して「クロイツァー賞」を制定。教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」のほか、ゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞金を贈呈。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を 1976 年（昭和 51 年）より毎年開催するほか、特別演奏会や出版活動を行なっています。

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



日本・ロシア音楽家協会への支援

1984 年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。その後、ソ連の崩壊により「日本・ロシア音楽家協会」と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入る。ロシアとの文化交流コンサートを開催すると同時に、声楽・器楽のコンサートや公開レッスン、公開講座、シンポジウムなど開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>



日本シマノフスキ協会への支援

カロル・シマノフスキは、ショパンとともにポーランドを代表する作曲家です。1981 年、彼の生誕 100 年を記念して設立。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、公開講座、例会等のコンサートを開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>





人間の本来のあるべき姿、人間的豊かさの育みを第一に考える カワイの教育事業は各種教室事業や教育者育成事業を展開しています

教育事業

personality & harmony



丸い人、三角の人、いろんな人がいるから楽しい。
みんな同じだったら、きっと世の中はつまらない。

私らしさを大切にしたいから、
あなたらしさも大切にしたい。

一人ひとりに、それぞれの可能性。
丸い人はもっと丸く、三角の人はもっと三角に。

それがカワイ音楽教室。
わたしたちは音楽で個性を伸ばします。

カワイ音楽教室では、
「個」そしてその「表現」を大切にします

カワイ音楽教室は、創立以来「音楽を身につける過程で、個々の持つ様々な能力や可能性が見いだされ、発揮されること」「音楽を学ぶことでこそ得られる人格的なふくよかさや、奥深く幅広い豊かな人格形成を求めること」「技術的な進歩だけに偏らない、真に芸術的な感性と人間的魅力に溢れた新しい日本の文化人を育成すること」等を中心的目標として掲げ、50年間に渡って、日本中に音楽芸術を愛好する多くの豊かな人々を育ててまいりました。

これらカワイ音楽教室が掲げてきた創立当初からの理念は、現在の日本が改めて見直しは始めている、「人間教育」の根本的な礎となる「人間のあるべき姿」への一貫した思想です。

カワイ音楽教室



当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年（昭和31年）に第1号教室を開設、以来50年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に4,000を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。



カワイ英語教室



カワイ英語教室は、ゲームやアクションを通して、子どもたちが楽しみながら「生きた英語」を身に付けます。そしてコミュニケーションの手段としての英語を通して自分を伝えたい、相手を知りたいという心を満たし、豊かな人間性を育みます。

カワイミュージックスクール



中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、ドラム、ボーカルなど、40種以上に及ぶ大人のための音楽教室を運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。



カワイ絵画造形教室



カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。



心とからだのハーモニーをモットーに全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。カワイ体育教室開設以来45年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。



体育コース

子どもの遊びは、からだの面、こころの面、知的な面を育てるために大切なものです。しかし近年、遊びの中で知恵を出し合ったり、感情をぶつけ合う機会が減少していると言われます。カワイ体育教室はこのような子どもたちが、のびのびとからだを動かして遊ぶための環境づくりをサポートいたします。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



特定保健指導の支援

厚生労働省が医療費削減対策として特定保健指導を義務化する中で、国のプログラムに合わせた支援を行っています。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を支援します。介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。介護保険法の改訂により多くの市町村で地域支援事業として介護予防への取り組みが強化されています。カワイは1次予防や2次予防を対象とした介護予防事業の支援をいたします。また、認知機能低下予防にも注目し活動しております。

カワイネットシステム

ネットパル

体育教室と家庭をモバイルを使ってリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化（生徒の日常の運動をサポート）」「家族の健康づくり」を実現します。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。

カワイの認知症予防プログラム ～運動・音楽・脳げんき～

準備運動・ストレッチ



有酸素運動

ウォーキングプログラム



認知症予防

ハンドゲーム



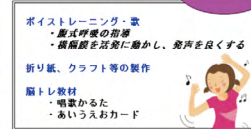
お子玉

コミュニケーションプログラム



対人接触

音楽・造形・脳トレ教材



知的活動





スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。

カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。これまでは、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、今後は多くの子どもたちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子どもたちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。



<カワイ体育教室 スタッフ紹介>



チーフアドバイザー

水鳥 寿思 さん

2004 年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012 年 5 月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラス

チーフインストラクター 川本 ゆかり さん

1992 年バルセロナオリンピック出場。2009 年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。



カワイカップ

器械体操・新体操・サッカーの全国大会です。年に一度全国の仲間とコミュニケーションを図り、楽しくしかし真剣に子どもたちが自分の実力を試す場となっています。





コミュニケーション



地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

工場見学の受け入れ

竜洋工場ではカワイピアノに親しんでいただくために、地域の小学生・中学生・高校生や次世代の音楽文化を担う学生さんたち、その他多くの皆様の工場見学を受け入れています。組立からピアノが完成するまでの仕上げ工程をご覧くださいことができます。

2013年度の見学者数は1,610名でした。(2014年2月10日～6月17日の間は耐震工事のために工場見学は中止させていただきました。)見学後、小学生をはじめ、多くの方々から見学のお礼に沢山の温かい感想のお手紙をいただきました。

なお、竜洋工場内には復元した歴史的な楽器を展示するピアノ歴史資料室が併設されており、実際に弾いてその当時の音色を楽しむこともできます。

〔工場のご見学に関するお問い合わせ〕
竜洋工場 業務室 静岡県磐田市飛平松 252
TEL.0538-66-5111 FAX.0538-66-5919



見学者から頂いたお手紙



ピアノ歴史資料室

エコキャップ運動

2008年より行っているエコキャップ運動はペットボトルキャップのリサイクル活用により、CO₂の発生を抑制するとともに貧困に苦しむ世界の子どもたちにポリオワクチンを提供することができます。2014年3月までの回収でCO₂排出量1,519kg -CO₂の抑制とワクチン244人分を提供することができました。(本社)



環境美化・保全活動

地域社会とのつながりを大切にしたいと考え、環境方針に基づいた環境活動として敷地内のみならず、事務所周辺の主要道路の清掃活動などを通じて地域の美化・環境保全に積極的に取り組んでいます。



本社



竜洋工場



カワイ精密金属：松本工場
工場団地内の清掃活動



各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

インドネシアにおける植林活動

「カワイの森」第2期植林活動をスタート

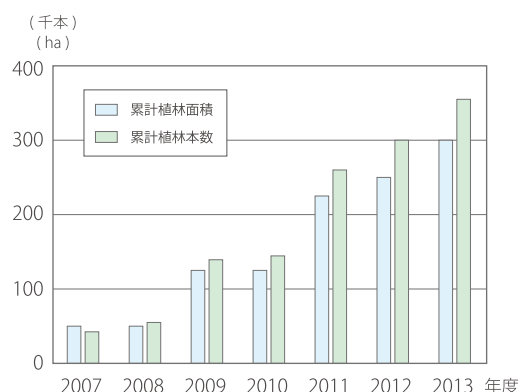
創立80周年記念事業の一環として2007年に開始した「カワイの森」植林活動は今年で8年目となりました。海外生産拠点のあるインドネシアにおいてCO₂吸収源の確保、将来の木材資源の育成を目的としてカワイグループ従業員有志により運営される「カワイの森育成会」、現地法人PT.カワイインドネシアおよびインドネシア森林公社(Perum Perhutani)とが協力して西ジャワ州カラワン県で植林活動を行っています。

開始から2012年度までの第1期では、当初計画を上回る250haの土地に約30万本の植林を行い、このうち約24万本が育成しています。

2013年度から始まった第2期植林活動では、5年計画で植林総本数25万本、植林総面積250haを予定しております。2014年1月には現地関係者による第2期第1次植林セレモニーを行い、50ha、5万本の植林を開始いたしました。



第2期第1次植林開始セレモニー(2014年1月)



地域との交流

PT.カワイインドネシア

従業員のコミュニケーション：カラワン工業団地(呼称:KIIC)のスポーツ大会で優秀な成績を収めました。



スポーツ大会



工場見学



洪水時の救援・支援活動
1月に発生した洪水では、被災した人々に支援の物資を届けました。

河合楽器(寧波)有限公司



12月年末に新春を迎える為に開催している従業員全員参加での恒例の親睦会です。従業員は、仕事の合間に練習を重ねていました。

(株)カワイハイパーウッド

カワイハイパーウッドでは、毎年、地元住民の皆様と社員との“ふれあい”を目的として、工場内の特設会場でコンサートを開催しています。2013年で8回目を迎えました。森本茉莉さんをお招きしてのピアノコンサート、ソプラノの有賀美聡さん、テノールの村上達哉さんによる声楽を解説付きで披露していただきました。第三部は恒例の中郡中学校吹奏楽部のみなさんにより、「あまちゃん」のテーマなどを演奏していただき、近隣住民の皆様と楽しい一日を過ごすことができました。今回も、大変多くの方々から東日本震災被災地への支援活動として募金にご協力をいただきました。この募金は被災地支援活動として、東松島市にデジタルピアノを寄贈して有効に使わせていただきました。



その他 国内事業所



従業員を対象にした献血活動を各事業所で毎年実施し、日本赤十字血液センターに協力しています。

カワイ精密金属(株)浜松工場：献血活動



お客様に愛され、親しまれるカワイを目指して

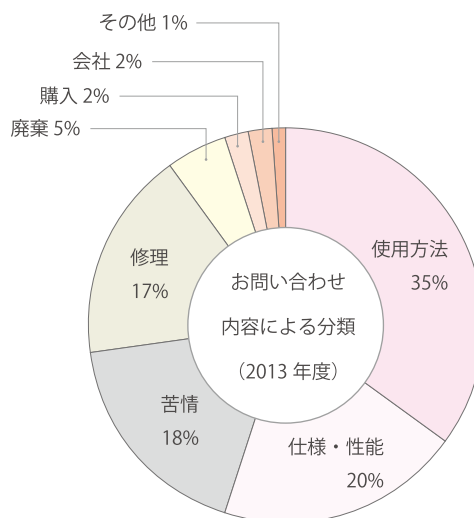
情報発信

CS（顧客満足）への取り組み

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を行うべく、お客様相談室で受付を行っております。音楽を愛する専門スタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指してサービスに努めております。

お客様相談室 TEL:053-457-1311

受付時間：月曜日から金曜日までの 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00



アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに“生命体”であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。

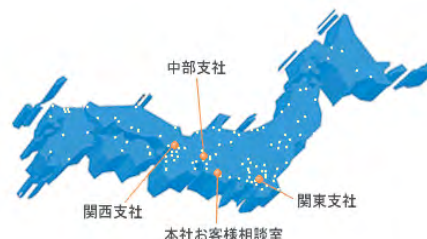
そこで私達が健康管理をするようにピアノにも“調律”という名のメディカルチェックが必要なのです。カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

世界最大規模のアフターサービス網

約 240 名の調律師が直営ネットワーク（日本全国 108 拠点）に配置され、全国津々浦々のお客様の大切なピアノのアフターサービスに従事しています。全てカワイの社員です。入社後も、数々の技術研修制度により技術の研鑽に努め、お客様のご希望にお応えします。さらに、コンサート会場でのピアノ調律を担当する MPA* は、国内外のコンクールやコンサートの場面でアーティストのハイレベルなご要望にもお応えしております。

* MPA: Master Piano Artisan (マスターピアノアーティザン：社内資格)

国内営業本部 調律サービス部 TEL:053-457-1256



ピアノメンテナンスを通じた社会貢献

カワイは、ピアノの調律の啓発や技術の向上を目的とした団体である（一社）日本ピアノ調律師協会（通称ニッピ）の主旨に賛同し、その活動に協力しています。

日本ピアノ調律師協会は、ピアノを国民の芸術的財産として位置づけ、その運営管理を行なうことにより社会道徳的要請に応えるべく、会員資質の向上、調律技術者の社会的信用の維持向上に取り組んでいます。カワイでは調律技術者のほとんどがニッピの会員です。



環境社会報告書のウェブサイトによる開示

カワイのウェブサイトのトップページの「会社情報」から、「環境への取り組み」に進んでいただきますと、過去の環境社会報告書もご覧いただけます。

<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>

環境社会報告書の継続的発行

カワイでは 2001 年より毎年、「環境報告書」を発行し、2004 年からは社会的側面についても記載し、「環境社会報告書」を発行しています。多くの皆様に持続可能な社会の実現に向けたカワイの活動を知っていただくよう今後も情報提供を続けてまいります。



2011 年



2012 年



2013 年



2014 年



資料編



環境負荷サイト別一覧

			参 考				基準年			
			1990	2009	2010	2011	2012	2013	基準年比	
竜洋工場 静岡県磐田市 (旧舞阪工場を含む) 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	57,359	58,134	56,822	58,667	58,654	0.0%
		燃料	GJ	28,253	17,501	18,688	17,354	17,220	16,047	-6.8%
		水	千㎡	3,330	36.0	39.0	38.5	37.0	38.0	2.6%
		化学物質	ton	0	26.3	42.6	35.7	39.0	39.0	-0.1%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	4,429	3,973	3,819	3,894	3,806	-2.3%
		化学物質	ton	0	11.0	11.2	6.6	8.8	5.4	-38.8%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	26.0	33.7	24.7	7.8	9.2	17.7%
		廃棄物 再資源化	ton	102	691.3	826	810.7	730.6	767.0	5.0%

(株)カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中部町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	15,141	14,307	15,822	16,306	15,674	-3.9%
		燃料	GJ	11	4,704	3,778	4,652	4,548	3,319	-27.0%
		水	千㎡	28.6	5.3	5.2	5.8	6.6	6.2	-5.8%
		化学物質	ton		26.9	23.4	20.7	24.3	22.0	-9.5%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	1,170	921	1,052	1,066	950	-10.9%
		化学物質	ton		8.6	4.3	0.6	0.8	0.7	-9.7%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	44.9	36.2	55.1	0.2	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	77.3	31.9	57.8	144.1	127.1	-11.8%

メルヘン楽器(株) 静岡県周智郡森町 事業内容：電子楽器製造 敷地面積：11,583㎡	INPUT	電気	GJ	3,914	2,210	2,201	847	908	1,142	25.8%
		燃料	GJ	74.7	9.5	8.4	1.2	0.8	0.9	6.9%
		水	千㎡	0.6	2.9	1.9	0.8	0.7	1.0	41.2%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	223	124	101	39	41	52	25.4%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	1.6	0.0	1.6	1.0	0.4	-60.0%
		廃棄物 再資源化	ton	0	7.6	59.9	11.2	2.0	4.3	115.0%

(株)カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ	2008 年 より 稼働	1,067	1,125	955	943	990	5.0%
		燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		水	千㎡		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		59	51	44	43	45	4.5%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton		2.9	2.4	2.8	3.1	4.6	49.8%

カワイ精密金属(株)浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ	1994 年 より稼働	37,622	38,968	34,651	35,556	44,160	24.2%
		燃料	GJ		11.1	10	8.7	7.4	7.1	-4.1%
		水	千㎡		18.7	22.8	20.0	22.1	26.0	17.9%
		化学物質	ton		32.3	20.7	14.4	11.1	14.2	27.9%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		2,095	1,779	1,582	1,623	2,015	24.1%
		化学物質	ton		31.0	15.0	12.6	9.0	13.0	44.4%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		18.5	15.5	20.0	21.2	23.2	9.6%
		廃棄物 再資源化	ton		32.4	14.8	19.7	19.3	35.2	82.3%

カワイ精密金属(株)松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	45,411	50,632	34,959	30,391	34,890	14.8%
		燃料	GJ	7,132	7,526	7,399	4,576	4,009	4,791	19.5%
		水	千㎡	42.1	78.5	87.5	84.2	81.7	92.9	13.8%
		化学物質	ton		72.9	85.0	40.8	30.3	32.8	8.3%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	3,060	2,834	1,919	1,671	1,909	14.3%
		化学物質	ton		52.9	60.0	29.4	20.1	25.0	24.3%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		10.5	12.4	13.8	9.2	12.3	33.3%
		廃棄物 再資源化	ton		61.4	78.6	68.7	53.9	14.8	-72.6%

本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		9,620	9,823	8,960	8,989	9,198	2.3%
		燃料	GJ		484	626	597	546	641	17.4%
		水	千㎡		7.4	7.7	5.1	4.4	4.4	-0.1%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		541	492	450	448	374	-16.6%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	6.4	7.1	8.0	12.7%
		廃棄物 再資源化	ton		24.9	22.8	14.7	14.0	20.9	49.7%



第三者意見



東京工業大学 大学院 教授
中崎 清彦 先生

2004 年度にそれまでの環境報告書から環境社会報告書に進化して以来、その形式も定着し、カワイグループの事業活動にともなう環境報告、社会性報告が適正にまとめられている。

環境報告については、環境負荷低減について継続的な努力がなされていることが見て取れる。CO₂ 排出量、産業廃棄物の排出量については、売り上げあたりの原単位基準で低減が順調に進んでおり、年次目標が着実に達成されている。事業活動に伴う環境配慮に関しては、「森の中の緑の工房」における緑化の一層の充実、海外植林活動によって、年間 3700 トンの CO₂ 吸収効果が期待できる（これは竜洋工場における生産活動に伴う CO₂ 発生量に相当する量である）、長く浜松駅前のシンボルとして市民に親しまれてきたビル屋上の広告塔も電気使用量を大幅に低減することに成功している。

社会性報告については、2013 年からスタートした第 4 次中期経営計画に対して、当初計画を上回る実績があったことに加えて、コーポレート・ガバナンスの充実が継続的に企業価値を高めるために重要と位置づけて、強固な内部統制システムを構築していること、リスク管理の体制も明確に示されている。文化貢献活動としては、カワイ音楽振興会の活動、さまざまなコンサートが実施されている。また、カワイ健康づくりシステムの取り組みは大変興味深い。心とからだのハーモニーは、長く音楽をとおして豊かな心について考えてきたカワイならではの取り組みと思う。なお、もう一つ重要な取り組みは、東日本大震災の被災地に対する支援のための、チャリティーコンサートが今春で 10 回目となり、被災地の方々を元気付ける活動が継続的におこなわれていることである。

本報告書のキーワードは「継続」である。環境・社会性もいずれも継続的な改善が実施され、益々よいものに進化している。また、植林など効果があると分かったことは継続するという積極的な姿勢がよくわかる報告書となっている。今後一層の継続的な取り組みを期待したい。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生から第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、事業活動にともなう地球環境の負荷低減の取組み、コーポレート・ガバナンス体制とともに音楽を通じた東日本大震災の被災地への復興支援活動としてチャリティーコンサートを継続していることをご評価いただきましたことは、今後の取組みの継続を考える上で、大いに励みになるお言葉として受け止めております。

また、ご助言いただきました「継続」につきましては、今後、よりの確な指標による環境活動の評価を行い、継続的に PDCA を廻していくことが重要な課題と捉えて、しっかりと推進してまいりたいと考えます。

同時に、今後もカワイグループの取組みについて、皆様へ分かりやすい情報の開示に務めてまいります。

（カワイ地球環境委員会 事務局）

最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、
下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2014 へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q 1 環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになられましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| ☐ 投資家・株主として | ☐ 河合楽器と取引関係にある | ☐ カワイグループの従業員・家族 |
| ☐ 政府・行政機関 | ☐ 環境 NGO・NPO として | ☐ 報道機関 |
| ☐ 企業の環境担当者 | ☐ 学生 | ☐ 環境専門家・教育者・研究者 |
| ☐ 事業所近隣の方 | ☐ 製品のユーザー | ☐ その他（ ） |

Q 2 環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| ☐ ウェブサイト（カワイ・カワイ以外） | ☐ 環境セミナー等で | ☐ 新聞・雑誌 |
| ☐ 営業マン・教室・先生から | ☐ その他（ ） | |

Q 3 この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさ | ☐ よくわかる | ☐ 普通 | ☐ わかりにくい |
| ・内容 | ☐ 充実 | ☐ 普通 | ☐ 物足りない |
| ・情報量 | ☐ 多すぎる | ☐ 適切 | ☐ 不足である |

Q 4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？（いくつでも）

◎企業概要

- ☐ 表紙
- ☐ 編集方針
- ☐ 社長コミットメント
- ☐ カワイグループの事業と会社の概況
- ☐ 経営の理念・行動指針
- ☐ カワイグループのあゆみ
- ☐ 音楽を通じた支援活動

◎環境報告

- ☐ カワイの環境への取り組み
 - ☐ 地球環境憲章・環境方針・環境推進組織
- ☐ 環境経営
 - ☐ 2013 年度の環境目標と実績
- ☐ 事業活動に伴う環境配慮
 - ☐ 地球温暖化の防止
 - ☐ 製品の環境負荷（LCA）
 - ☐ 廃棄物削減・再資源化
 - ☐ グリーン調達
- ☐ 環境配慮型製品
 - ☐ ファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵
 - ☐ 省電力型デジタルピアノ
 - ☐ カワイ防音ルーム ナサール
- ☐ 環境パフォーマンス
 - ☐ マテリアルバランス

◎社会性報告

- ☐ 経営計画
 - ☐ 第 4 次中期経営計画
- ☐ コーポレート・ガバナンス
 - ☐ コーポレートガバナンス体制・内部統制システム
- ☐ リスク管理体制
- ☐ 株主・投資家の皆様とともに
- ☐ お客様との関係
 - ☐ 文化貢献活動
 - ☐ 教育事業
 - ☐ カワイ健康づくりシステム
 - ☐ スポーツコミュニティ
 - ☐ コミュニケーション
 - ☐ 地域社会との共生
 - ☐ インドネシアにおける植林活動
 - ☐ 地域との交流
 - ☐ 情報発信
 - ☐ 環境社会報告書のウェブサイトによる開示
 - ☐ 環境社会報告書の継続的発行

◎資料編

- ☐ 環境負荷サイト別一覧
- ☐ 第三者意見
- ☐ アンケートのお願い

Q 5 環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。（個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません）

お名前	ふりがな
	男・女 年齢 歳
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒 —
ご連絡先	TEL FAX E-mail
ご職業 (勤務先・部署・役職名)	

FAX 053-457-1300

〒 430-8665 浜松市中区寺島町 200 番地 株式会社 河合楽器製作所 総務人事部 CS 環境室 行



株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

カワイ地球環境委員会

事務局：総務人事部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地

TEL: 053-457-1252 FAX: 053-457-1300

URL:<http://www.kawai.co.jp>